

社会資本総合整備計画

平成25年3月21日

計画の名称	1 福井市における下水道施設の防災対策（復興基本方針関連（全国防災））			
計画の期間	平成23年度（1年間）	交付対象	福井市	
計画の目標	東日本大震災を教訓として、防災上緊急に必要な対策を行うことにより、安全・安心な生活環境を確保する。			

計画の成果目標（定量的指標）	防災上重要な管渠の耐震化対策を適切に行う。（H23年までに耐震化率100%）			
----------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	・必要管渠耐震化率 耐震化済み管渠数（箇所）/H23までに耐震化が必要な管渠数（箇所）			定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H23当初) 0% (0箇所)			中間目標値 最終目標値 (H23末) 100% (20箇所)			備考
全体事業費	合計 (A+B+C)	52.9百万円	A	52.9百万円	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制・実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福井市下水道部内において実施。	事業終了後
	公表の方法
	市のホームページ上で公開。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	下水道	一般	福井市	直接	—	管渠	改築	橋南排水区外管渠改築	耐震化	福井市						52.9	
											合計	52.9					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	橋南、加茂河原・小山谷排水区は、昭和20年代から管渠布設が行われ、区域内の管渠延長約70kmのうち、老朽化した管渠が多くなっており、TVカメラ調査等により対策が必要な管渠を抽出した。本事業において、管更生工事による管渠の耐震化が実施されたことにより、管渠破損による道路陥没被害を未然に防止し、地震等の被災時の救命活動や支援活動に支障をきたさないことなど、管渠の安全性が向上した。																
II 定量的指標の達成状況	指標：必要管渠耐震化率	最終目標値	100%（20箇所）	目標値と実績値に差が出た要因	計画に位置付けた事業を完了できた。												
		最終実績値	100%（20箇所）														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	橋南、加茂河原・小山谷排水区において、管渠耐震化対策は、本事業および平成23年度当初予算と合わせて35箇所（1.27km）を行った。																

3. 特記事項（今後の方針等）

今後とも、橋南、加茂河原・小山谷排水区の対策を早期に完了し、他の合流区域の管渠（西部第1、北部、東部第1、下北野排水区等）についても着実に対策を実施する。

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 福井市における下水道施設の防災対策（復興基本方針関連（全国防災））	交付対象	福井市
計画の期間	平成23年度（1年間）		

